

經濟週報

青島日本商業會議所

第百十八號

中華郵政特准掛號認爲新聞紙類 大正十四年九月七日發行 每週月曜日

本號記事

- 隴海鐵路調查狀態(其十二)
○大正十四年上半期青島貿易狀況(其二)
○支那關稅會議召集
○銀塊並爲替(自八月廿四日至廿九日)
○商況(同)
○青島物價表(八月末)

資料

隴海鐵路東路調

查狀況 (其十二)

第八章 徐州

銅山縣々城の所在地徐州府は春秋時代宋の彭城にして西楚の霸王項羽此の地に都す夏以來徐州となし周時代に於て青州を併入し秦の時縣に改め漢に至りて郡を置き明に入りて銅山縣となし今に至る、淮安府の西北にありて山東、安徽、河南三省の間に錯入し地勢西部に山嶽相迫り東部は黃河の沖積層にして波丘起伏す、北方に微山湖あり舊黃河道に臨む

傾向にあり將來城内南門大街に代り商業の中心地たるべきか
今警察廳長の言に依るに現在人家五万戸人口十七万人を有すと將來鄭州の漢口に對するが如く徐州は青島の奥地出張所たらしむるに足るべき地なり、今當地の官衙、學校及公共團體等を示せば左の如し

- 蘇皖宣撫使第二路司令部 東門大街徐州飯店内
徐海道尹公署 東門街
銅山縣公署 縣署街
銅山縣巡警局 隍廟街
徐關 三馬路
鹽局 南門外戶部山南
津浦鐵路貨捐分局 三馬路
隴海路貨捐局 北馬路
現在兩路貨捐局を合し津浦、隴海特別貨捐總局とし三馬路津浦路貨捐局跡に設置し居れり
菸酒公賣局 舊道署
印花稅發行所 縣公署内
電報局 中道街
郵政局 總局は津浦驛内 支局は城内丁字卷、馬市街にあり
電話局 東門街
江蘇省立第七工場 城内東南隅
全立第二農事試驗場 北門外西閣
全立蠶桑模範場 北門外壩子街
銅山縣立農事試驗場 北門外洪福寺
二、學校及教育機關
銅山縣教育局 銅山縣教育局
銅山通俗圖書館 銅山童子軍團聯合會
江蘇義務教育期成會銅山支會
大彭市教育會 徐州學生聯合會
江蘇省立第十中學校 私立徐州中學校
全立第七師範學校附屬小學
第三女師範、銅山縣立甲種師範講習所 銅山縣立

- 第一、第二、第三、第四、第五、第六、高等小學校
銅山縣立
第一、第二、女子高等小學校、銅山縣立
第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十三國民小學校、津浦車站扶輪學校
銅山私立
吳氏兄弟小學校、銅山私立褚氏貧民小學校、培心書院(教會立) 正心女學校(教會立)
三、公共團體
銅山縣商會、銅山縣農會、全工會、全公欸公產經理處、全水利局、全水利研究會、徐海道地方自治協進會、大彭市公所、大彭市農會、救火聯合會、回教聯合會、洋貨業公所、南貨業公所、錢業公會、木業公會、糧業公會、徐州轉運公會、銅山商務分會
四、會館
浙江會館、安徽會館、山西會館、河南會館、江西會館、齊魯會館、金陵會館
洞庭東山會館
五、其他
育嬰堂、貧兒養育院、大彭市施材局、天主教堂、耶穌教堂、養濟院
六、醫院
民立醫院、二陽醫院、彭城醫院、基督醫院、振亞醫院、坤維醫院、同仁醫院
葆初醫院、寶靈醫院、一善社、大彭市施醫藥局

即ちその各機關の錯在する事前述の如くにして教育又盛なるものあり、然れ共人智の開發尙は十分ならず青島に比し尙は二十年の徑庭ある如し
次に當地に於ける外人の勢力を見るに一般外人在住者少く只前述の如き教會に屬する宣教師、及鐵路技師のみなるも彼等宣教師は教會以外更に學校或は醫院等の經營を行ひ極力地方人の懐柔に努めつゝあり
翻つて當地方人の日本に對する思想を見るに彼の日清戰爭後の教科書によりて訓

育せられたる老、壯年は我が國の侵略主義を堅く主張し當代學生は所謂雷同的排日思想に捕はれ共に我が國人に對し反感を抱くもの多きは筆者の實見せる所なり然れ共當市人中日本は何れの方面なるや如何なる國なるやを解するものは少數官吏及學生のみに止まり筆者等を認めて廣東人と稱するもの多き程度のものにしてかく未知の日本に對する反感は一に宣傳の然らしむる所なるを察するに難からず將來徐海線開通等に依り當地に來るべき日人も亦漸次増加すべきは疑ひなき所にして之等入市者の言動は實に彼等地方人の思想を覆滅せしむるや或は助長せしむるやに想到する時吾人の共に戒心すべき所たらざるべからず

第一節 生業
第一款 農業
當地方は從來阿片栽培地として盛大なるものあり徐州は一に阿片の大取引市場たりしが禁令發布後阿片の栽培中止は一時徐州の衰退を慮はしめたるものなり、此處に於てか省當局は地方人士と一致協力種々農業の復興に努力したる結果省立第二農事試驗場、省立蠶桑模範場、縣立農事試驗場、大彭市農會等の設立を見るに至り地方農耕の漸く盛大なるに至れりその農産品の主なるものとしては黃豆、小麥、落花生、高粱、玉蜀黍、棉花、芝麻蔬菜等にして且つその副業としての畜牛養蠶、養鶏は又當地繁榮の一助たるべきものなり
第二款 工業
當地の現在に於ける工業状態を見るに所謂洋式工場としての見るべきもの少く工業の發達實に遅々たり、然れ共その將來大都市たる資格乏しき當地は更にその工業上より見るも亦大工業地たり得べからざる地なれど只面粉業、石鹼業、燐寸業製粉業、榨油業、織布業として一部工業の發達は望み得るも亦以て大工業地たる

一、所報第一二號眞同商會會議所
一、朝鮮銀行界 朝鮮事情
一、事務報告十三年度大連商業會議所
一、日本紡織第八號日本紡織新報社
一、年報 報第三九號橫濱輸出協會
一、一月 報第一三號上海經濟新報
一、五月 報第五五號門司商業會議所
一、六月 報第一二號朝鮮金泉商工會
一、七月 報第一三號上海經濟新報
一、八月 報第一四號酒田商業會議所
一、九月 報第一四號酒田商業會議所
一、十月 報第一四號酒田商業會議所
一、十一月 報第一四號酒田商業會議所
一、十二月 報第一四號酒田商業會議所
發行所 青島日本商業會議所

の素因をなす能はず今現有工業に就き見
るに

一、蛋粉業

支那に於ける卵粉製造業の發達せるは最近のことに屬し日清戰前獨乙人にして漢口に於て二個の工場を設置するに端を發したるものなるが操業容易なる簡易工業にして大資本を要せず且つ原料たる鶏卵の甚だ豊富なるは目下の支那經濟狀態に最も適合せる事業の一となり遂に支那各地重要地には到る所當工業の工場を見ざるなきに至り隴海沿線に於ける新設、増設工場も亦甚だ多く地方重要工業の一たるに至れり、今徐州に於ける卵粉製造工場を見るにその主なるもの三個あり同瑞公、晉康、宏祐昌之にしてその中前二者は共に土法製造により後者は洋式機械によるものなるもその規模大ならず然れ共當地に於ける鶏卵の集散量は之等工場の需用に對し僅かに集散の一部を供給するを以て足り尙多大の移出能力あるに徴し將來尙は此種工業の増設を見るべし

二、織布業

本工業も亦簡易經營をなし得るものにして綿布の需用巨額に上る當中部支那一帶に於ける織布業は亦有望なる工業の一たり、然れ共當徐州地方には未だ大なる織布工場、の存在するを見ず只省立第七工場、の設立ありて地方民に對し家内工業的織布の奨励に努めつゝあるため家内織布業の見るべきものあり、前述第七工場の規模、内容は新浦に於て記述せし第八工場、と大同小異なるに付き省略す

三、絹織物業

當地方は阿片栽培禁止後省當局の奨励と地方有力者の指導とにより各種農産物の栽培と共に桑園の栽培又盛となり當地に於ける絹糸線業漸次盛況に赴きつゝある現況にして目下その年産約重量六十万兩價格七万五千兩以上の生糸を出し居るもその生糸は繰り方太くして單に縫糸を製

するに適當のみなるを考慮するとき當工業は尙ほ一段の改善に努力するの必要あるものなり

四、電氣工業

當地に於ける電氣工業は他にその見るべきものなく只城内外に供する需燈業のみなり、本電燈會社はもと官營にして彼の復壁の首領張勳南京退去の際南京より移出せるものなりしが後官民合辦となし現今に於ては一般に配給をなし城内外にて十六燭光換算六千餘燈の配給をなし居れり

五、製粉工業

當地方製粉業はその洋式機械によるもの一もなく悉く土法による磨坊製粉及移入機械粉を使用しつゝあり然れ共當地に於ける原料たる小麥の豊富なると動力用石炭の豊富なるとは交通の便と相俟つて將來必ず有望たる可き工業なり然れ共工程そのものに於て複雑ならざる本工業は今後に於ける邦人着手の工業としては不適當なるものにして必ずや支那人の着手して利を見るものと思考さる

大正十四年上半期

青島貿易概況 (其二)

輸入品 外國品

○棉花 當港に輸入せらるゝ棉花は主として當地紡績用混綿に使用せらるゝ米印綿にして今年前半期中日本より九万九千五百九十九擔上海市場より千四百六十六擔の輸入を見合計十萬五千二百五十九擔に達せるか之を昨年と比すれば五万七千九百九十九擔の減退にして主として日本經由品の減退を現はし來れり上海よりの輸入も亦米國其他の輸入薄に稍活況を呈し千四百六十六擔の輸入を見たるか要する米棉經由市場の轉換に過ぎず青島紡績事業の新展と共に優良棉の一部を支那産棉に需め山東に於ても濱州棉の産出を増加し之に陝西棉通州棉等の優良棉花を加へて混綿す

るに至りたる事情は著しく外棉を壓迫せる次第にして本年上半期の外棉輸入は前述の激減を現はせしか此趨勢は年々繼續せらるべく支那に優良棉の産出を増加するは支那内地紡績の發展を促す原因を爲すに至るべし

○綿糸

當港は從來棉糸の輸入港として著はれたる地方にして主として日本綿糸の輸入を見其數量も年額十二万五千餘擔に達せしか當地紡績の發達と共に漸次其數量を減し十三年中の輸入糸は僅かに四万九千七百餘擔に過ぎず太番物市場は全然當地紡績に奪取せらるゝに至れり前年上半期の輸入を見るに日本より三万四千三百餘擔上海二千五百九十九擔となり合計三萬六千五百八十八擔なりしか本年は日本二萬三千三百六十七擔上海五百四十二擔にして其他を加へて二萬三千九百二十五擔となり著しき減退を著はせしは大勢の歸する所如何ともする能わさるものにして將來益々此趨勢は助長せらるべし

○セメント

當港は前年山東興業會社の事業繼續により輸入は殆んど淺野、小野田の優等品に限られ支那人向は悉く山東興業會社の製品を以て足れりとし間唐山セメントの輸入を見たる事あり昨年の上半期に於て事業不振の爲め遂に山東唯一のセメント工場たる山東興業の事業休止と共に全く支那人方面の需要は悉く日本唐山製品に聚り昨下半年に於て約二万擔の輸入を算せしか本年に入りて日本人家の減退と共に當地並奧地の支那人間の需要相當に上り遂に三万餘擔の輸入を呼ぶに至れり此現象は山東興業の休業と支那人建築の活況を語るものにして邦人間の需要は微々たるものなり

○縫針

本品輸入は歐戰後と雖も日本工場は粗製濫造に災せられて當地輸入は全然不振の状態に陥り日本輸入針は著しく減少し獨逸、白耳義の製品に壓倒されたる傾となりしか品質と價格の相違

は到底外品の敵たる能わす日本官廳は此の形勢を眺め輸出針に對し嚴重なる検査を行ひ合格品に非されば輸出の許可を得る能わさる制度の下に品質を改良せし爲め稍や輸入針の活況を呈し本年上半期の輸入額九千六百八十八万本に上りたるも外國物は獨白両品並に上海より輸入せらるゝ雜種を合せて其數一億七千二十七万餘本に比するときは雲泥の相違にして日本針の改良並に價格の引下に對しては尙考慮せらるものなるを信す

○砂糖

「精製糖」當港輸入精製糖は日本品を第一とし前年上半六万七千二百五十餘擔香港三萬六千餘擔上海より輸入せるもの雜種一萬四千三百餘擔にして合計十一萬七千五百餘擔に上りしか本年日本糖は著しく活況を呈して九萬五千七百餘擔に達し昨年と比し二萬八千七百餘擔の増加を示せり香港糖も亦五萬六千餘擔となり二萬擔の増加を現はし上海も亦好況に推移せるを以て上半期の輸入を昨年同期に比較すれば二萬八千餘擔の増加を示したり

○白糖

「白砂糖」前年は日本糖の活躍著しきもあり前年上半一萬六千四百四十三擔の輸入を見香港八千九百五十九擔上海四千四百四十七擔合計二萬九千五百四十九擔に達したるか本年は更に活況を續け前半中四万六千七百九十一擔を算し昨年と比し一万七千餘擔の増加を來せり

○石鹼

「赤砂糖」本品輸入は香港糖の獨占場にして其需要も亦他糖の覬愉を容さず本年上半は昨年より稍減退したるも尙十萬五千三百擔を算し氣勢を擧げ居れり

最近次第に其販路を擴張し來りたるを以て其數量微々たるへきも支那人方面の需要に適したる「リバーブラサース」製品は既に其販路の危懼を要せず盛んに輸入されつつあり前年上半の統計によれば總計二萬九千二百九十三兩の輸入を示せしか本年は更に二萬三千八百五十一兩に増進し殊に上海よりの輸入多きを加へ來れり

○曹達

當地に於ける曹達の需要は頗る廣く毎年五、六萬擔以上の輸入を見たるか本年は著しき減退を示し昨上半輸入三万二千七百十八擔に對し本年は九千九百八擔に過ぎず殆んど二萬一千擔の減退を示したるは昨年盛んに輸入を試み遂に三万三千餘擔を輸入せる英國製品か今年には全く其跡を絶ちたるによるものにして他に特種の理由あるを見す

○白米

當港に輸入せらるゝ白米は日本米、朝鮮米、滿州米、廣東米、上海米等にして其種類雜多なるか日本、朝鮮、滿州米は邦人の需要を主とし香港米は支那人に限り上米は其上物は日本人間に間々用ひらるゝも主として支那人の需要を充すものなり上海米の需要及數量に於ては「支那品」の部に詳記すへきも茲には主として朝鮮米、滿州米、香港米に就て述ふへし當地在住日支人の白米利用は莫大なるものにして年々日本米は二萬二千擔香港は五萬擔以上の輸入を算し合計七萬八千擔に上るに至りしは青島の還付と共に支那官廳の設置と共に使用人員家族の來青夥たしく之等は中流以上の生活を營むものにして香港米の輸入は年々増加し來り前年遂に五萬擔以上に達せるものなり之と反對に多くの歸還者を出したる日本官廳は其經營を支那に移すと共に其人員減少を來り日本米の需要も減退せるは當然にして本年上半期に於ては日本米は一萬六千餘擔 輸入を見昨年と比し六千七百擔の増加を現せしか香港米も亦本年は昨年の倍額となり四萬擔の輸入を現は

し其増加の急激なるに一驚を吃せしめたり比現象は單に地方の危險を避けたる支那人の居を爰に構ふもの増加し來りたるに過ぎざるべし

時 事 關稅會議召集

支那政府は八月十八日閣議を開きて千九百二十二年二月華府會議に於て關稅會議特別會議を十月廿六日北京に開會し度き官外交總長の名義を以て通牒を發するに至りたるが其大要を示せば左の如し

とし増率のみを議題とするならば會議を開く必要なしと主張したる爲め段政府は國民系の主張を全然避くる能はず折衷案を提げて對内對外の圓滿を計らんとしたるものなるも支那委員は該會議の席上に於て適當の時期を見計らひ自主權回收案を提出すべきに到底其主張の貫徹する能はざるは明なるを以て第二にマツケー條約に規定されたる一割二分五厘案を提出して奮闘を試みんとするもの如く想像せらるるが本案は其實施と共に國內厘金廢止の條件を附されある事は現在の如き割據の形勢に在る支那に於て行はるゝ事は非常に困難の事情の伴ふものにして各省は何れも釐金の收入によりて省財政を經理し軍隊を駐屯せしむるものに其糧道を絶たるる事は彼等の最も苦痛とする處なれば各省の統率に任するものは忽ち反對の聲を大にすへきを以て閣議に於ては釐金廢止六ヶ月前に相當の準備金を整へ各省の厘金收金豫め調査し釐金廢止による減收を其準備金中より支出する事とし六ヶ月經過の後は關稅收入より補給せんとする大體案を得たといふか各省の經費を關稅收入より支出する案は無事に通過すまいと見られて居る

銀塊並爲替

(自八月廿四日 至八月廿九日)

銀塊

引續き支那印度筋の買物に前週末三十二片八分の三先三十二片二分の一に達したる銀塊は週初買一服に十六分の一の方の小強みを見たるも再び廿五日よりの買拾頭と米國筋の賣惜みに殆んど強氣一點張り経過し相場は遂日昂騰週末遂に三十二片十六分の十三先三十二片八分の七で近來の新高値を現出するに至れり

爲替

銀塊連日の昂騰と廣東生絲爲替の出廻りに上海市況は遂日強調を加へ週初三志

金銀相場表

Table with exchange rates for gold and silver. Columns include date (廿四日, 廿五日, 廿六日, 廿七日, 廿八日, 廿九日) and various gold/silver prices.

爲替相場表

Table with exchange rates for various currencies. Columns include date (廿四日, 廿五日, 廿六日, 廿七日, 廿八日, 廿九日) and rates for London, India, etc.

商 况

(自八月廿四日 至八月廿九日)

重要商品市況

◆綿糸布 八月を通じて六千捆の輸出を見たる對滿州商談爲替安の爲め遂に不都合に立至り茲に唯一の強材料を失ひたる市場は引續き實需の沈黙と爲替の奔落にて慘憺たる状態にして滯貨の漸増と共に週末三月の新安値に暴落せり以來週を通じて手合壹千捆を出でず

石 炭

その後廣東方面は支那人筋にて多少積出しあるも大した數量に非るもの、如く上海方面は追々需要期に入りつゝあるも銀高のため金建築に壓倒せられて當地炭は大なる活況を呈するに到らず、内地向は銀高のためコークス石炭ともに閑散にして地賣は紡績方面も大部貯炭を有するため今の所閑散なり

花生及生油

西南口物十元七十仙より六十仙に下押その間殆んど商内無く僅かに六百屯の手合せあり、殼付は七元九十五仙より八元丁度に上押三千俵程手合せあり、殼無先物週初九元三十二仙五厘週央九元二十二仙五厘週末九元十七仙五厘爲替の不利と歐洲安値のため買入總見送りにて安値を待つ、生油は廿一元にて四十車の手合せあり、先物は十九元五仙にて二車出來たるのみなり、尙歐洲殼付の運賃は八月三十一日より一屯五志を上げたるも他のものは従前と同一なり

麥粉麩

綠鹿週初三元四十二仙週央三元四十仙週末三元三十八仙綠兵船は三元二十七仙より三元二十六仙と何れも下押せるも綠ダイヤのみは三元三十七仙より三元四十仙と上押せり、一般相場の下押せるは銀高のため輸入の有利となりし關係にて綠ダイヤのみは市中に現物無き

ためかくの如き上伸を見たるなり、麩は庫渡三元十仙見當にて麥粉相場の下落と内地見送りに基くものにして、一二ヶ月は今の相場保合なるべし

牛 肉

週初内地買氣相當にあるも當地は輸出に差支へなき程度の出廻りあり相場上十三仙中十二仙二三厘下十一仙五六厘見當保合週央出廻り稍不良となりしたため相場二三厘方の上伸を示し十三仙二三厘中十二仙五六厘下十一仙七八厘見當を稱す氣配は尙強氣構へなるも銀相場昂騰しつゝあるを以て此の上内地が買來るや否や疑問なり

鷄 卵

出廻り不變不良、内地は多少買氣ひそむもの、如きもこれ以上買進み來らず相場保合大玉十四元中玉十三元小玉十一元五十仙見當を稱へつゝあり、尙ほ内地洪水のため相當買來るべしと豫想さるゝも目下の銀相場にては差したる上伸も無かるべし

取 引 所 市 況

前週末金塊の約落しと輸出シーズンを据へたるため目先尙一段の高値を豫想され押目買氣に場面伸々手堅く前週末より四十五錢高の一三九圓六十錢に始り週央正金建値一圓方引下げ發表にて當市場も一三八圓五十錢見當に下押一服の商狀を呈するに到る、その後大連高き金塊安に再び昂騰四十圓台を突破、廿七日相場引跡關東水害の入報あるや場面益々強人氣高値は四十一圓七十錢を覗き四十一圓四十錢に大引けたり

物 産

殼無十一月限九元七十仙にて二十六日二車出來、十二月限は週初九元三十仙週央九元二十四仙週末九元十八仙と下押、生油九月限週初廿一元五十仙週央廿一元十仙週末二十元六十仙、一月限は週初十八元七十五仙週末十八元六十五仙

綿 糸

依然無味閑散特記すべき商内も無く一七八兩七五に始り週央賣人氣旺盛にて一七六兩五〇に低落その後益々棒下げて遂に一七一兩の亂調相場現出、週末不振乍ら一七三兩七五に小戻りして大引けたり

